

ペット・バック

小倉 弘子
え・題字／南和恵



あの日坂で逢った時は、妙な感じの娘だとは思っただれど、案外平常は幼くて、万事に騒やかに、無邪気なふるまいをする女の子だろう、と想像を決めつけていた。

現に、こうして坐っている姿を見ても、孤立無援の心細さのようなものは感じても、性の陰湿さのなれの果て、というじめついた暗さはない。坐り馴れた母親の部屋にいるように、べったり腰を落としこんで、今にもお手玉を投げてほしそうな顔つきでいる。

わけもなく、ふつとのめりそうになった気持ちを、加奈子は用心深く押えつけた。

自分に関わりのないことなのだ。気づかぬふりをしていればすむことなのだ……。

加奈子は顔を上げた。喉に声をふくませて、何気ない風に智世に笑いかけた。

「どう？ ごはん食べれそうなら運んできましようか」
そういう置いて立ち上がった。

「待って。おばさん私に話があったんやないの」

落としこんでいた首を伸ばして、智世は早口で加奈子と呼びとめた。

そうか、そういつて呼びこんだな、と加奈子は自分の先刻の言葉に当惑して立ちすくんだ。智世は加奈子の坐るのを待つしぐさで姿勢を正した。まるで反対ではないか。不快な吐息を覚えながら、それでも相手のまつすぐな視線に会うと踏んばれなかった。

重い気持ちになって、加奈子は脚を折った。

「私にお金貸してくれへんかしら」

そう鼻声で訴えられて、加奈子は耳を疑った。

「困ってんねんわ。貸してほしいの」

智世は糸切歯の覗く唇を舐めながら強く繰り返した。その掠れた声が、加奈子の胸に重苦しく響いた。

こんなことをいい出しそうな予感があったのだ。

寒々とした想いが、加奈子の表情を能面のようにこわばらせた。

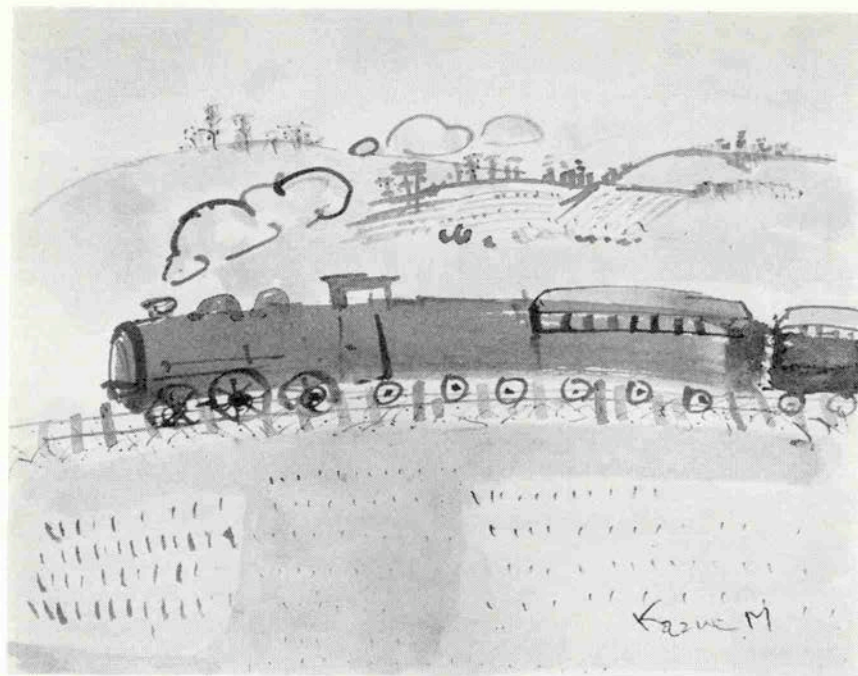
「私に頼むって、おかしいやないの。何に使うお金か知らないけれど、そう簡単に私に頼めるの？」

智世は口端を歪め、うすく笑った。自分にと、相手にともつかない、嘲りの匂いのする笑みから加奈子は身構えた。確かに察しはついている。だが、こんな身勝手

な相談に巻きこまれてたまるものか。そんなに甘い人間に思われたのが業腹だと、加奈子は荒い息を詰めた。

そう思いながらも、相手のあまりにも悠然とした態度に、加奈子は気押されるものを感じた。

まったく縁のつづきもない自分に、無心を申し入れるというのに、この娘には濃い屈辱感もないらしい。他愛もない、と片づけられそうな軽い物言いではなかったけれど、ことのついでに頼んでみようか、というような心の動きだったのかもしれない。それならそれで、こちら



もさりげなく身をかわしたらいいことなのだろうけれど。そう考えついたとたん、加奈子は時間が気になってきた。

祥二が帰ると決まれば、まだ買物にも行かなければならなかった。仕事も給とじが残っている。選りに選ってこんな日のこの時間、人の話に執着している閑はない。加奈子は自分にそういう聞かせた。自分には平靜な生活がある。智世の困難が、自分の経験したことのない現実

の生活ラインから、宙に浮き上がった悩みだとしても、親もいるだろうし、雇い主だっている。幼い相手かもしれないが、素肌を寄せ合った男はどうしているのだ……。

「その相談には悪いけど乗れないわ。どうやら智ちゃんの困っていることは見当がつくけれど、話に乗ってもらう適当な人が他にいないでしょう。おばさんの想像通りだとしたら、早く処置しないと、とり返しのつかないことになるわ」

まるでテレビドラマの中のせりふだと、加奈子は自分の言葉に苦笑した。だが、当事者以外なら、誰がいったって、これぐらいのことしかいえないと、加奈子は胸の中で呟いた。「とりあえず、今日は帰った方がいいわ。まだ顔色も悪いし、それにひよっとすると」

そこまで早口が出たが、後はいい淀んだ。今になって、祥二が帰宅するから、と告げるには、あまりに露骨な追い出しの口実となる。

「ひよっとすると、つてなあに？」
智世がすかさず言葉尻を捕えた。

「私がこのまま居坐るとでも思ったの」
不意をつかれて加奈子は浮かしかけた腰を落とした。

「おばさん」

と智世は重みを帯びた声で呼びかけた。

「子供の始末っていわはるけれど、おばさんにも関係のあることかもしれへんわよ」

言葉の中に笑いが溢んでいた。ことさらにゆっくり吐かれた不吉な意味の語りかけに、加奈子は智世の気狂いじみた嘲弄を嗅ぎとった。

「莫迦なことをいうもんじゃないわ」

そう唖れた声でいい返しながら、自分の声の無残な響きに、加奈子は息を呑んでいた。

うす雲が拡がったのか、部屋内に翳りが忍びこんでいた。こめかみが引き吊る感覚が、一瞬加奈子の焦点をぼやけさせていた。横坐りに膝を崩した智世の姿が二重になり、輪郭の滲んだ小さな顔が、陰惨な老婆の影に重なり合つたように縮かまって、上目使いに揺れていた。

「おかしいな。どんな人でも一つや二つ、はっとすることがあるみたい……。それからね、あのケーキ古かったのと違う？　旦那さんには食べさせん方がいいわ」

智世は低く喉を鳴らして笑った。加奈子には、その眼が物狂おしく揺らめいている気配に感じられた。心ならずも、口からの出まかせを吐き出した後の、やり場のない感情の余韻と思いたかった。が、真意はわからなかった。

「おばさんって、ほんとうに可哀想な人やね。何一つドラマチックなところのない大人って感じがするわ。最初逢った時はそう思わなかったけれど……」

うす赤く眼の端の染まった視線を、智世は加奈子に注いでいた。それからふいと顔をそむけると、笑いが過ぎた。それからふいと顔をそむけると、笑いが過ぎた。

「雨になりそうな暗さやわ」

と落とした眼もとで畳の一個処を見めていた。

智世が予告したように、日暮れ前から降りだした雨が、夜の訪れを早くした。

時計を見ると、五時には間のある時間であつたが、部

屋の中はすっかり暗くなっていた。

あれから家を出て行つた智世が、何とはなしにまたすぐ玄関先に戻ってくるような気がして、加奈子は坐りこんだまま、神経だけは表戸の方へ奪われていた。いつもなら、とうに買物に出かける時間なのに、その気にもなれなかった。

台所まで出ていって、調理台の上に置かれたままの大皿のスパゲッティを目に入れた時、加奈子はいたたまれない気持ちになった。透明なビニールのゴミ袋に詰めこむと、空気を孕んだ橙色の中身は胎児のようにふくらんで、ますます加奈子の暗い想いをかきたてた。

祥二の帰ってくるのが待ち遠しかった。

今はもう、少しは気持ちも落着いて、智世の謎めいたいい回しは嘘だつたらう、という確信はあつた。

それでは何を祥二に告げようとしているのだろう。そこまで考えを辿りながら、加奈子は改めて部屋中をぐるりと見廻した。

申し訳ばかりに置いた針箱と、裁台に広げられた紅大島の長着。鏡をふり返つた自分の眼の中に、まずそれが飛びこんだ。

荒っぽい手つきで、加奈子は固い手触りの長着をたたみこみ、部屋の隅へ押しやった。

広げたものの、糸も通さずにぼんやり眺めていた紅大島が、たたまれてからかえってほっと息づいたように、細かい蚊がすりの光沢を、電灯に向けてなまめかせていた。

指先でかすかな音をたてた絹鳴りが、加奈子の記憶を醒まさせた。

叔母の家に引きとられて育つた加奈子が、婚約中の祥二のいる岡山のドックへ、初めて一泊で面会に行つた時だった。

大阪駅まで見送りにきた叔母が、耳もとに囁いた言葉が忘れられなくて、加奈子は唇以上を祥二に許そうとしなかった。



「加奈ちゃん。あしたの朝は迎えにくるさかいにね、今晚の夜行でかならず帰っておいでよ。結婚前やから、よくよく身を慎しまなアカンよ。式はまだ来年やのに身重にでもなったら、私が死んだあんたのお母ちゃんに申し訳ないしなあ。わかってるか」

くどくどとくり返す叔母の言葉に、加奈子は素直にうなずいた。

後から思えば、純なのは自分でなく、昔気質の叔母であつたのだと、加奈子は幾度となく思い出しては微笑したが、その時は叔母の気持ちを裏切りたくない思いで必死であつた。

白絹のブラウスを脱がそうとする祥二に抗って、加奈子はきつく胸もとを両腕で抱えこんだ。交又させた両の掌でつかんだ袖山が、指先で震えて、キチキチとか細い音をたてていた。

「なんでやねん。ここまで逢いに来てくれながら……」半ばあきらめ顔の面持ちで、祥二が吐息まじりに呟いた時、

「それでも子供ができたりしたら」
と加奈子は、叔母の言葉をおうむ返しに、真顔でいっ

てのけたものだった。

「子供か——。子供はできへん」

その声音が淋しそうに聞こえて、一瞬加奈子は軀から力が脱けた。

荒い呼吸を盛りかえした祥二が、再び軀を抱きこみにきた時、加奈子は、たつた今の相手の言葉を噓だと決めつけていた。まるで襲い者を撃退するような勢で、祥二の軀をはねのけながら、そのくせ沈んでしまった相手の顔を見ると、そつと身を寄せていたりするような、幼い行為を短い時間にくり返した。

いわれた通り夜半の汽車に乗り、大阪駅の白々明けのプラットホームで、嬉しそうな顔つきの叔母を見た時、加奈子はこれで良かったのだと、心の底から思ったものであった。

ところが、祥二の言葉は嘘ではなかった。

規則正しい生理の訪れが、加奈子の健康を証明しているのに、現在までの二十何年間、加奈子はとうとう母親にはなれなかった。

もう結婚生活も何年か重ねた頃、加奈子は叔母に逢つて、その頃の思い出話をしたことがあった。

「ほんなら祥二さんは子種がないこと、自分でわかってたんなやな。仕事があんなやさかい、若い時悪い病気にでもかかってたんと違うやろか。加奈ちゃん聞いてみたか？ あんたは大丈夫やの？」

叔母の息せききった、露骨でむさい問いかけに、加奈子はあわてて首を振った。

正直なところ、不妊の原因は祥二の過去にあるかもしれない、と思わぬでもなかった。

が、今さらそれを問いたでして、相手の苦い顔を見たところで、どうなるものでもなし、自分も嫌な気分を味わうのだと、加奈子は思った。また、叔母の心配するような、その種の病気の徴候が、自分の軀に現われなかったのが、せめてものことだと、加奈子は感じていたのだ。

智世のかけた言葉の呪縛から、加奈子は自分を解き放そうとした。

そう気がついてみると、智世の妊娠さえ一方決めではなかったのか。加奈子は遠い視線になって考えた。雨音がひとときわ強くなったようであった。激しいしびきが窓ガラスを鳴らして通った。

その時、勝手口からの呼び声が、いらだたしげに加奈子の耳に届いた。

「磯野さん、いはるんでしよう？ 干し物よ、干し物、」加奈子はそうだったと、小さな悲鳴と共に飛び上がった。降りだしてから何時間もたつのに気づかなかった自分を、隣家の主婦は留守だと思ひこんでいたらしい。加奈子は急いでペランダに出たが、叩きつけられる雨聲に、僅かの洗濯物が重みを増して、ビニルロープを壊めかていた。

祥二の乗ったタクシーが、家の前に停まったのは、それから三十分も過ぎた頃であった。

いっぱいにふくらんだボストンバックを、いきなり玄関に放りこむと、突きでた腹を波うたせて加奈子と呼び

たてた。

「金を出せ。金だ」

まるで辻強盗のせりふだと、加奈子はあわてて財布を取りに入ったが、うろたえていたので置き場所がわからなかった。とっさに思い出して鏡台の中の小銭入れを取りだし、レシートの紙片や領収書をかきわけて、百円玉を何枚か見つけた。

タクシーが走り去るのを見送って、ほっと息をついてふり返ってから、加奈子は愕きに声をあげそうになった。門灯の向こうで手まねきしている夫の胸に、大きな影が蠢いている。

「またベットですか」

「今度のは飼いやすいぞ。ドヌ、おばはんだ。やさしくしてもらうんやぞ」

その夫の細めた眼を、加奈子はうんざりとして見つめた。

フィリピン猿は、確かマリリン・モンローから取った名だった。今度のはドヌ。おおかた、ごひいきのカトリヌ・ドヌーブとでもいうのだろうと、体長一米そこそこのチンパンジーを見ながら苦笑した。

それからがちよつとした騒ぎになり、加奈子はおかげで、先刻のもの憂い気分をほとんど忘れ去られた。

雨に少し濡れたから、毛布を出してやってくれ。ストープは出せるか？ 灯油はあるやろな。矢つぎ早の亭主の注文に、加奈子は夫の戦略を感じておかしかった。こうして最初から、ベットの支度に追い廻してしまえば、落着いた頃はもう諦めて、女房も苦情をいわなくなる。そう見抜いている夫の智慧が見えている。

例の朱塗りの机の前にとっかとか大きなあぐらをかき、祥二は膝の間にドヌを抱きこんで揺すっていた。濃黒色の毛並みが艶のあるふくよかさで、船での祥二の愛玩ぶりがうかがえた。

●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊どうぞ！
欧米の心身障害者を訪ねて

世界の福祉施設

橋本 明著〈社団法人社会福祉協議会事務局長〉

△カラー八ページ、本文三二〇ページ、定価 一〇〇〇円△ 送料 二〇〇円

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。

神戸市生田区東町一三の一 大神ビル七階 ☎(三三二) 二二四六

振替口座 神戸四五一九六

ニユース漫画〈神戸新聞「笑点」を
必死のパッチで描き続けて七、〇〇〇回(二〇年)

たかはしもう笑品集

内容 「最新カラーマンガ」(9頁)

「笑点20年」(36頁) 「似顔絵一〇〇人」(54頁)

「ニユースマンガ家の一日」(4頁)

二、五〇〇円
〔送料二〇〇円〕

お申込みは「たかはしもう出版会」(月刊神戸っ子編集部内)

送金方法／太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金二一五二七〇四「たかはしもう出版会」または月刊神戸っ子あて現金送金してください。

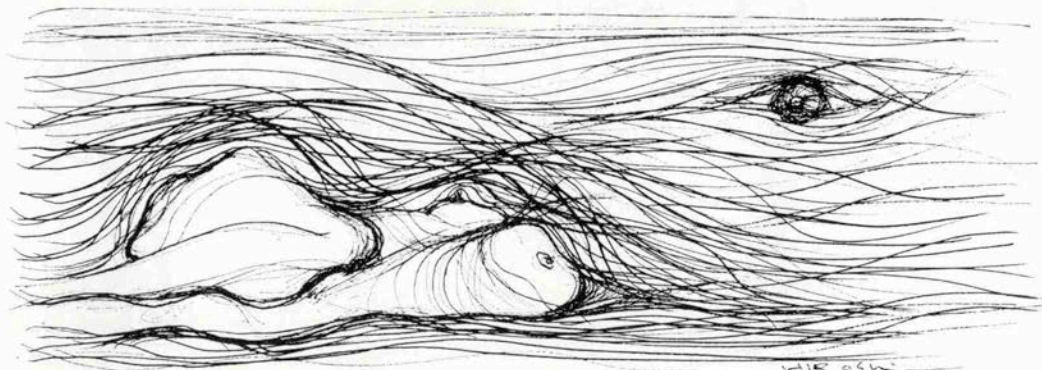
連載小説

<2>

シール・ブラウンの神々

田磨 新

絵・松本 宏



野中実様へ

ごぶさたしております。またインドへ出かけられるんですね。いつか、あなたとごいっしょしたいと思いながら、そのチャンスいまだきたらず……でも、あんな別れかたをしたのでは、無理な話ですね。このお手紙、ひよっとして、インドへの飛行機のなかで読んでもらえるとすれば、わたしの分身在インドに旅をするのと同じ理屈になりそうです。実は、その旅への願いを狙って書いたともいえますのよ。

前置きが長くなりましたが、あなたは、あの人から、わたしのことをもうお聞きになっていると思いますが、ゲームでの事件は、わたしに何の影も遺していないといえ、ウソに聞こえるでしょうか。ああでもない、こうでもない、たしかに悩みました。このお手紙も書こうか、書かずにおこうかと迷いぬきました。

あなたに、あの人が事故の一部始終を喋っている様子から、わたしは、わたしなりに考えをせひとも聞いていたきたいという気持が、結局このお手紙を書く気にさせられたのです。これは、おしきせでも、同情をかうためでもありません。どうか、その点は誤

(Ⅲ)

解なさらないでくださいまし。

わたしは、最初に事件と書いてしまいましたが、必ずしも事件とは考えていないんですよ。交通事故か、病氣か、それも風邪ぐらいにしか思わないのです。このことは強氣でもなく、弱氣でもありません。わたしが、こんな考え方をするものですから、わたしのとりまき連中は、氣が狂ったように騒いだり、同情を寄せようとしたのでしょう。わたしは、そのひとつひとつが、なんだか、わたし以外のところで勝手に判断され、解釈されるのが我慢できなかった。

あなたに、ゲームでの出来事をこまかく書く気にはなれません。日本人の新婚旅行者が、われもわれもと出かけてゆくからには、何か甘い罠があったとしても不思議じゃなかったのです。まして添乗員ののんちゃんが、そのことを知らないはずじゃなかったでしょうに。日本でも沖縄や米軍基地のある町では、いまでもあれに似た事故が起こっているでしょう。新聞やテレビが報道しないだけで、わたしたちは慣らされたのでしょうか。

OLとか独身貴族とか（いずれの言葉も好きではありません）が、これでもか、これでもかと海外旅行にわんさ出かける。そのごく一部にせよ、事故に巻きこまれていきます。むかし、「からゆきさん」のように人狩りがなされ、海を渡った彼女らとは似ても似つかぬものですが、何か女の性のもつ渴きが、ここまで行きついたかという氣がしないでもありません。

戦後、間もないころ母の姉さんが、ちょうど似たような事故にあっています。その伯母は、そのことのために婚期を逸していましたが、のちに船員と結婚しました。ところが、その主人から病氣を感染され、みじめな死に追いつまれたことを聞くにおよんで、夫婦の生活で何が幸せやら、不幸になるやら判らなくなっていました。男と女がいる限り、似たような暮しをくりかえすのですが、男女の仲は紙ひとえのきわどいものだというをつくづく感じました。

あなたとの最初の出逢いは、ヨーロッパ旅行のとき。旅行社の添乗員のあなたは、何事にも丁寧で礼儀正しく、親切でやさしかった。それはわたしだけでなく、他の女性たちにもそうだった。そのことは妬みにもなり、わたしには不満でしたが。

あなたのような添乗員と親しくしていることは、何かと便利で都合がよいと考えていました。旅行好きのわたしは、いまになって告白すれば、それが、数カ月して、たんなる便利屋さんでなくなった。

あなたが、インドに行ってきたといっって『ムーン・ストーン』のおみやげを頂いたときからだわ。逢うたびに、口ぐせのように忙しい忙しいといながら、世界をとび歩くあなたの姿は、わたしには、とてもたのしい存在だった。

あなたから『ムーン・ストーン』のいわれを聞かされたとき、鳩の血、鳩の首を締めて血を見る、見ないかで、この謎の宝石は幸か不幸のきわだった石だと……。そのとき、すでにわたしの生涯を予見なさっていたのかしら、いまになって思い出せば。しかし、わたしは、この宝石の透明なひかりが氣に入っていたの。ひかりを受けるとそのまます十字型に反射する。明るさにも、暗さにも素直で、氣品がある。夜はベッドのライトで、昼間は、腕時計を眺めるたびに、まぶしいひかりを楽しんでいた。

あなたに宝石の返礼をしたいと思いつづけていたときあなたが、あれをしたがったから、誘われるままにホテルに出かけた。楽しかったのか、悲しかったのか、ほんとはよく判らなかったのよ。それなのに——妊娠。わたしは、あのときほど卵巣をもった雌という動物のような自分が、嫌でたまらなかった。

あなたのそのときのセリフは、忘れません。『じゃ、随すんだな』ただひとこと。雄の特権みたいないい方。味もそっけもなく、ね。

『あなた、それでも人間なの』首をねじられたのは平和の鳩でなく、このわたしだ。考えれば考えるほど、どこ

までもみじめになりそう。だから、徹底的に復讐をしようかと思つたのよ。でも、もういいんですよ。あのことを責めるためにお手紙を書いているのじゃないんですから。

あなたの学友の森田君に、そのことを相談しようとしたことがあるのですが、結局なにも喋れずに帰つてきた。そのちに交際を申し込まれ、あの人のやさしさにもぐりこんでいった。そして、あの人の家族ともゆききするようになって、結婚を受け入れてしまったのです。

あなたとわたしとの経緯をあの人が知っていたのか、どうか確かめるすべはありませんが、新婚旅行のバックをあなたからお祝いに贈られたことを知って驚いたのですが、あとのまつりです。このグアム旅行で、あの人の関係は打ち砕かれたのですから。

あなたとあの人が、親友だとしても、お互に自分の不利なことは伝えないとしますと、グアムでの事故も、あの人は、まだ話していいのではないかと。とすれば、このお手紙は、全く余分なことを書いているわけです。あなたへのおみやげものや新家庭のご挨拶文も押し入れて、ほこりをかぶったままです。事故ののち、レンタカーでのドライブも打ち切り日本へとんで帰りました。その後、お互に口もきかないんですから。いまは、別居しています。もう別れてしまったのも当然です。幸い籍も入れていませんから話は簡単です。世間への面だけがのこっています。

(IV)

美佐子からの手紙は、まだつづいていいる。野中が美佐子の手紙を受取ったのは、インド旅行への前夜だった。しかし、下宿のポストに入ったままになっているのを朝まで気づかずになっていたという。出かけるとき、アタッシュケースにほりこむ。厚みのある手紙などきたためしがないので裏を返してみる。岩根美佐子。すでに忘れた名前である。女たちの暖もりが貌とうまく重ならない。彼は

駅へ駆けこみ改札を抜ける。電車に乗り、つり皮を握る。ずつと美佐子の名を追ってみる。思い出せない。

空港の国際線のおびただしい人垣を横切つてるとき美佐子の名前に想い当たる。『ムーン・ストーン』の安い石を買つてやった女だ。『いまさら、あ的美佐子が何を書いて寄こしたのだ』

野中は十五人のパーティの確認を急ぎ、出国手続きに追いまわされ、美佐子の手紙どころではない。しかし、パスポートを入れたケースを開くたびに、美佐子の丸顔が浮かんだ。

『今月は、あれがないのよ』

『あれって』

『のんちゃんは、女のことを何も知らないの』

『女の生理まで気がまわるかよ。そんなことは、自分で管理してくれなちや』

『管理ですって、わたしは平凡な二十八日周期よ。もう間違いないわ』

野中が美佐子の手紙を開いたのは、ホンコンでの給油のときだった。しかし、ゆつくりとは読んでおれない。免税店でのウイスキーを買う坊さんたちの相手をしなればならなかったから。いまやつとカル Катタに向う機内で読みかえしていた。

——のんちゃんには、グアムでの出来事を書かないつもりだったが、やはりお報らせしておきます。あの人とホテルを出て海岸沿いを散歩中のときだったのです。専用浜辺を離れ、少し遠出しすぎた感じがしたのですが、岩場や密林地区にも興味があったのです。ほんのこのところ。すると、降って湧いたように、あつという間に、四人とも五人とも、わからない男たちに取りかこまれた。大男だった。神わざに近い早さで押えつけられていた。あとで気づいたことですが、波の音も、密林をわたる風の音も、まぶしい太陽にとけこみ夢の延長みたいな気持。ただ汗がたらたらと流れていた。暑さも感じない。まして悲しみも、褐きもなく、けだるい鈍痛が体内にこもって

いて、何も考える力がなくなっていた。

ホテルに帰って、バスルームに閉じこもったまま何度も何度も髪を洗い、いつまでも体を洗っていました。窓ガラスをせっせとこするみたいに。だが鳥色をした男の臭気がとれない。夕食は喉をとうらなかつた。あの人はど

うしたんだろうと気づいたのは、真夜中に眼を覚ましてからだ。あの人も眠れなかったのでしょうか。ベッドで背中をまるめていた。わたしは、あの人の背中にふれたのです。

『このまま別れよう。何もなかったように』

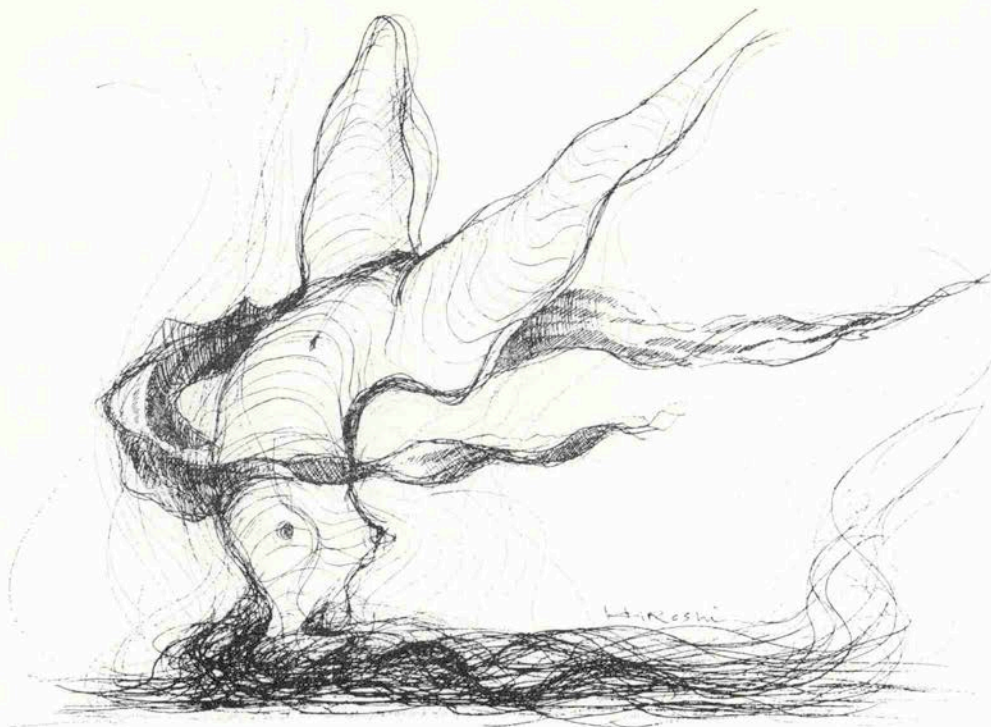
『こたわっているの』

『いや、ともかく俺と出逢わなかったことにしてほしい』

のんちゃんなら、あのとき、防衛してくれたでしょうか。そんなことを思ったのは、もっと後になってからですが、いま、このお手紙を書きながら応えてほしい気がするのです。あの人は、わたしを助けてくれなかつた。もちろん、あの男に立ち向うことは不可能でしょうが、ただ、おろろするばかりだったのよ。後になって、たしかめはしませんが、あの人も後手に縛られ、海水パンツもはがされ、わたしと同様だったわけですから、余りあの人がばかりも責められない。しかし——と、また考えてしまう。これから先、あの人と末永くいっしょに暮らしてゆくのに、何か重要なものが欠けている気がしたのです。

あの人も辛かつたでしょうが、わたしにうちとけてくれないことと、わたしが、あの人をふがいないと思うことを突きつめますと、男と女の違いみたいなものに行きつくのです。

あの人のとっても、わたしにとっても災難だったとしか思えない。あのことは一日たりとも早く忘れない。いってしまえば、蜥蜴が尻尾を切り落すぐらいにしか考えたくない。



あの人は違います。いや世の男どもは、いつまでもこ
だわりつづけるのではないでしようか。のんちゃんなら、
どうかしら。わたしは、永年暮していて、相手に浮気さ
れたことの方が数倍もショックを受ける気がするのだけ
ど。ふいに災難にあった事故より計画的にじわじわと不
倫をされる方が怖い。

のんちゃんに、とりとめもなく長いお便りを書いてし
まったわね。しかし、いまわたしが新たな決心を迫まら
れている事実も付け加えなければなりません。卵巣のは
つてくる気味悪さ、喉に棒をねじこまれる異常さに怯え
ながら、すでにわたしひとりでない実体。わたしはあえ
てそれを確かめたいのよ。まして自分の意志とは関係の
ない新しい生命に対しても。生まれでるものに罪がない
だけに、神の摂理に従ってみたいのです。

一九七×年九月×日

美佐子

タイ航空ボーイングTG三二一機は、バングラデシユ
のメコン地帯上空を飛んでいた。野中は眼を閉じ、リク
ライングシートに埋くまっていた。隣りの席にいる私が、
ときどき話しかけても返事はない。

「道路にしては、曲りくねっているし、やっとな川だとい
うことに気づきましたよ」

梅雨の終りで、川幅は増水しミルクコーヒー色の帯が、
密林のなかをゆっくりと蛇行しているのが見下ろされる
野中は、ふと緑の地平線上に群がる大男たちの影をみた
という。それはアクロバチックなバレエ劇にも似ていた。
ひとりの女が、男の腕から次つぎと逃げまどうたびに肌
着をむしりとられてゆく。彼の脳裡には、その残酷な古
いフィルムが焼きついて離れない。美佐子の肌のあらゆ
る部分が、ちょうど袋かポケットを裏がえすように、む
きだされては砂にまみれてゆく。そのざらざらした感触
が、野中の肌や口のなかにも伝わっていた。

「みどりの壁といい、海の碧さといい、自然のもつ雄大
な美しさが、まるで絵のようだ」

日本につづく海があった。碧いきれいな海である。河
口に流れでる濁流は、沖合にひろがらず、海岸線にそつ
てわずかに染みている。私は眼をほそめ、窓に寄せた顔
を離さない。すでに機内食の料理をたいらげていた。牛
ヒレステーキの黒くしよう焼きにポテイト、アスパラガ
スをそえたバリジエンヌ風サーモン、ロールパンにクラ
ッカーチーズ、マンゴケーキにコーヒー、そしてドイツ
ビールにいまはコニャックブランデーをちびりちびりな
めている。

「まるで空とぶレストランだね」。そのため四人のスチ
ュワードスはクラブのホステスさながらに働きづくめだ
まず、おしぼりのサービス。アペリチフの注文、次いで
料理。酒のおかわりを訊いて歩く。そして後片づけと休
む間もない。二百五十余の客を相手にするのだから。両
側に三人づつ五十列余り、まるで小劇場なみだ。

「この食事と酒代を運賃から割引いてくれてもよさそう
だがね」酒を飲まない僧侶がいう。

「ハイジャックも一人じゃ、とてもダメだね。少くとも
五、六人は必要だな」とカメラマン。

「いったん事故が起れば、日本の一週間分の交通事故死
亡者に匹敵するわけか」と私。

機内は、給油するたびに国のことばが入れ代わった。
日本語から広東語へ。そしてベンガル言葉へ。黄色人
種から金錆色の肌が、ふえていく。いよいよ亜大陸のど
真中へきたのだ。私の背中をかすかな怯えが走り抜ける。
この間、野中は美佐子のことを想いつづけていたという。
「なんとかしなくては、」

(つづく)

(訂正)

本誌六月号「シール・ブラウンの神々」(第一回)の
内で誤植がありましたので次のように訂正いたします。

一五二頁上段二六行目 カジュラオ→カジュラホ

一五二頁上段三十行目 カジュラオ→カジュラホ

★神戸っ子トラベルコーナー

★第2回東アフリカサファリと最後の楽園セイシェル
日程／8月11日(木)～8月22日(月)

費用／¥579、000

定員／13名

申込締切日／6月10日(金)

費用に含まれるもの／航空運賃、食事代金(3食付)、ホテル代金(スタンダードクラス)、手荷物代金(一人20kg)、サファリ・バス、添乗員サービス

費用に含まれないもの／渡航手続費、バスポート、予防接種及び手続手数料、クリーニング、電話、飲料等の個人的費用、20kgをこえる手荷物料

大阪→東京→ナイロビ→アンボセリNP→ゴロンゴロクレータ→レンゲティNP→マサイマラ→ナイロビ→セイシェル→東京→大阪

万年雪をいただくキリマンジャ

ロから昇る雄大な朝日、大草原にゆくゆく沈みゆく夕日、見渡す限りの動物の群……。こんな雄大な大自然が東アフリカです。

★SUPREME TOUR

コンドル・マチュ・イ

スター島・タビチ

パリ発のS.T.コンドルでマ

ッハ2の豪華な旅を、4名様が揃えばいつでも出発致します。

コース／東京・パリ・リオデジャ

ネイロリマ・クスコ・サンチャ

ゴ・イースター島・パペーテ島

ボラボラ島・シドニー・東京

費用／¥2、700、000

日程／23日間

全行程エスコート付、ホテル・食

事は最上クラス、観光はハイヤー

お申込み、お問合せはドッドウ

エルツァー・サービス神戸(貴合

区磯上通8-137、明治生命ビ

ル)担当/島村。☎2511000

21まで。

★東アフリカサバンナとサファリ

出発日／8月4日(木)・8月11

日(木)・8月18日(木)

費用／¥458、000

定員／15名

東京→ボンベイ→ナイロビ→アン

ボセリ→ツアポ→モンバサ→ナイ

ロビ→ボンベイ→東京

見どころ／野生動物の王国・胸の

すく大自然東アフリカ・ケニア、

ナイロビ国立公園、グレート・リ

フット・バレー、ナクル湖国立公

園、アサイ・アンボセリ国立公園、

ツアポ国立公園

★星砂との出会い

喜界島、沖永良部島、与論島など

の美しいコースが9月までもりだ

くさんです。

お問合せ、お申込は東急観光神戸

営業所加納町4丁目日本生命三宮

ビル1階 ☎33117461担当職員まで。

★第5回立山スケッチ教室
日程／8月11日(4泊4日)
8月5日(8泊3泊4日)

定員／各回20名

会費／1日3、500円

場所／ロジック立山連峰(現地集合解散)

講師／松岡寛一画伯

集合／第一日目の午前中にロジックに到着のこと

注意／山行のできる方(中学生以上、スケッチ必携用具、山行必携用具持参)

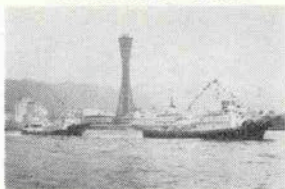
お問い合せは雷鳥沢温泉ロジック立山連峰 ☎0764-411234

5か松岡寛一 ☎22117950



イースター島のモアイの謎

talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

★「神戸っ子」五月号頂きました有難う。

此頃「人間模様」や「動物園飼育日記」などの読まなきと損といふくらい面白読み物その他に、各お店の宣伝の写真にうっとり見とれるようになりました。

お金もないくせに、ペニヤでこれ一着買っちゃう、装苑でも買っちゃお、渡辺もいいなあーなんて買う気起させる美しい写真をみてさすがにファッション都市を自ざしるなあと感心しています。

それに、素敵な個性の色どりをするのが、異人館建築時に出てくる建物たち。これがなかったらファッション都市コーベの面目はかなり平凡なものになるであまりましよう。

キタノサールカスもぜひ見てみたい。なんだかんだで、やっぱりゆっくり時間とお金を持って、遊びに行きたいです。

▲東京／石橋幸子V
★毎月、神戸っ子楽しみに読んでいます。5月号から新連載の小山乃里子の華麗なる挑戦、護身術入門楽しいですね。いつもラジオで

聞いているノコさんの顔、初めて見ました。顔はともかくとして実はイメージがちょっとちがったのです、スタイルはいいし、何よりも文章が意外といいですね。いつまで続くのかしら? いろんなことに挑戦して面白イルボを期待しています。ノコ頑張れ! ▲治子V
★KIRKING ALICE の出ていた5月号、なかなか楽しく見せていただきました。写真は New Orleans のフレンチ・クオーターです。フランス支配の時につくられたイメージの上にコリアンスタイルがスパニッシュスタイルが混在してなんとも言えない不思議な魅力のある街です。ガス灯と唐草模様で飾られた道を着飾った人達と歩きながら、店の中からきこえるジャズを聞きながら歩いていると時間を忘れそうです。古い財産を生か



New Orleans

した街と人々の生活が体となっていろいろ参考になりました。

▲ニューオリンズにて
安藤忠雄V



バターとニンニクをベースに焼いた牛肉、魚、アワビ、エビなどはアッサリとした風味です。また、和風仕込みのタレは七味、大根おろし、ふりネギを薬味として使用。但馬牛のとろけるような舌ざわりと風味を新鮮な野菜いためと合わせてご賞味下さい。ステーキはヒレステーキ、特別ヒレステーキ、ロースステーキの各種(3,500円から)、他に魚、アワビ、エビなどで、いずれも野菜つきです。



グリル



神戸市生田区北長狭通1丁目24
(三宮・生田新道)

TEL (078) 331-2509

12:00PM~2:00PM 4:00PM~0:00AM

第1・第3月曜日休み

●クラブ ムーンライト ☎(078) 331-0157

●レストラン ムーンライト ☎(078) 331-9554



ビーフフォンデュ ¥6,000 各種オードブル取合せ ¥1,200より 鰻のパテ サウ
ーククリーム添え ¥1,800 特製コールドビーフ ¥4,500

最高の眺望、最高の料理

7月1日よりオープン

六甲山上からの素晴らしい眺望を楽しみながら和田山牧場直送の穂高ビーフ(タジマ牛)をムーンライト特製のソースでエンジョイしていただきます。また、「春屋」のワインや舶来洋酒も各種揃えています。なお、席数が限られておりますので、ご予約をいただければ幸いです。また、ガーデンにて冷たいお飲み物などの用意をいたしておりますのでご利用下さい。

レストラン

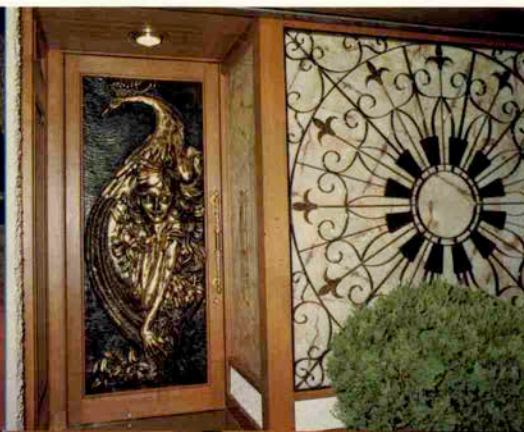
六甲ムーンライト

六甲オリエンタルホテル西100m

TEL (078) 891-0497 三宮店 331-0886

12:00PM~10:00PM 9月中旬まで営業

暑中お見舞い申し上げます



きば

神戸市生田区中山手通1丁目91-79 ニュー神和ビル2F

門竜

神戸市生田区中山手通 1 丁目91

確かな技術でハイセンスな店づくり



総合設計・施工

丸和建築デザインルーム

生田区北長狭通5丁目22-2 ☎341-5380 / 5538-9

神戸のうまいもとドリンクینگ

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
 舞合区旗塚通7-5 ☎ 231-6300
 トアロード店 ☎ 391-2538
 兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 **蝦夷**
 生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階
 ☎ 331-7770

和食 **くれなゐ**
 三宮生田新道浜側中央KCBビル2F
 ☎ 331-0494

鍋もの・おむすび **味噌 味 西**
 生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848
 お茶漬・担がた 三宮さんちカウチン ☎ 391-5319

たこ焼 **ちばな**
 三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

とうふ料理 **東 府 家**
 生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび **ふ る り**
 鍋 も の 生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かつぱう **吉 本**
 生田区加納町3-95-1(ニュー・ジャパン別館前) ☎ 241-3450

御食事処 **鳥 光**
 焼鳥・水煮 須磨本店 ☎ 731-5855 センタープラザ ☎ 531-6948
 さんブリザ店 ☎ 391-3696 三宮東門店 ☎ 331-4043

★西洋料理

レストラン **ア ポ ロ ン**
 レストラン 舞合区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン **鹿 鹿 鹿 皮くあらわ**
 レストラン 生田区中山手2-9 ☎ 221-8547・231-3315

ピザ&スバゲティ **ガ ル の 店**
 舞合区琴緒町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス **グ リ ル 青 山**
 レストラン 生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858

レストラン **クィーンズ コート**
 レストラン 生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ& **神 戸 館**
 ドリンクス 生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F ☎ 321-2955

スカンディナヴィア料理 **ゴックススタッド**
 と世界の民族音楽の店 生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY & **SAN-MON三 門**
 STEAK HOUSE 生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Cafe et **ア ン ド ウ ト ワ**
 Restaurant 生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン **ス イ ス シ ャ レ ー**
 レストラン 生田区北野町3-48アニマルマンション1F ☎ 221-4343

レストラン **セ ン ト ジ ョ ー ジ**
 レストラン 生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン **男 爵**
 レストラン 生田区中山手1-18 山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 **テ ィ フ ァ ー ナ**
 レストラン 生田区中山手通1丁目4-12 パールコーポラスビル1F ☎ 242-0043

maison de **花 屋 敷**
 la mode 三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-0315

ビザ・バブ **ピ ザ ・ パ テ オ**
 レストラン 生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 **ビストロドゥリヨン**
 レストラン 生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ビュッテハウス **ピ ノ ッ キ オ**
 レストラン 生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナ イ ト **火 の 鳥**
 レストラン 生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ボリネシア料理 **フィッシャーマンズポート**
 レストラン 海 賊 焼 神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン **フ ッ ク 東 店**
 レストラン 生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン **ム ー ン ラ イ ト**
 レストラン 三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 **月**
 レストラン ☎ 331-2509

レストラン **元町フルーツホール**
 レストラン フランス料理 元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス **れ ん が 亭**
 レストラン 生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE **六 段**
 & STEAK 生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 **ロ ス ・ ヒ タ ー ノ ス**
 フラメンコショー 生田区下山手通3丁目22 下山手セントラルハイツ ☎ 391-5431

レストラン **フ ッ ク 神 戸 店**
 レストラン 生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ **凱 旋 門**
 レストラン 生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 321-3378

ドイツレストラン **ハ イ デ ル ベ ル グ**
 レストラン 生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

ボロニア風 **カ プ リ オ**
 生パスタの店 神戸三宮さんブリザB1F ☎ 391-5206

サバー&れすとらん **島 津**
 レストラン 生田区栄町通2-14 加地ビル3F 阪神元町駅西口南 ☎ 391-5700

★喫茶 **エ ポ ッ ク**
 ティー&スナック 生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫 茶 **ガ ー デ ニ ア**
 レストラン 生田区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

宮水のコーヒー **に し む ら 珈 琲 店**
 レストラン 中 山 手 店・生田区中山手通1-70 ☎ 221-1872・231-9524
 センター街店・生田区三宮町2-35 ☎ 391-0669

北 野 店・山本通2-9 ☎ 242-2467 (会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール **バ ッ ク ス テ ー ジ**
 レストラン 生田区三宮町1 サンブラザ10F サンロイヤル ☎ 332-0230

珈 琲 **モ ー ツ ア ル ト**
 レストラン 生田区山本通2-98グランドマンション1F ☎ 241-3961

ファッショナブル **キ ン グ ス コ ー ト**
 レストラン ズーン ティーラウンジ ペントハウス 生田区山本通2-111 キングスコート内 ☎ 242-7090

珈 琲 **ん**
 レストラン 生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589

★club **飛 鳥**
 c l u b 生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

c l u b **小 万**
 c l u b 生田区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638・4386

c l u b **さ ち**
 c l u b 生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

グ ラ ブ **千**
 c l u b 生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

c l u b **な ぎ さ**
 c l u b 生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

く ら ぶ **ー げ ん**
 c l u b 三宮生田新道浜側中央KCBビル5F ☎ 331-8593

c l u b **B A R M o o n L i g h t**
 B A R 生田区中山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 331-0157
 Club ☎ 331-0157

ク ラ ブ る ふ ら ん **★STAND & SNACK**
 PUB & RESTAURANT 生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

ア ッ プ ラ ン ド **ア ッ プ ラ ン ド**
 レストラン 生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サ ロ ン **アルバトロス**
 レストラン 生田区中山手通1-24-7 大和ナイトブラザ2F ☎ 231-3300

DRINKING IS **ウ ッ ド ハ ウ ス**
 AN ART OF LIFE 生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

C A F E **音楽の家、ETエトワト**
 WHISKY 生田区三宮町3 三宮センター街西入口 スカイトアビル3F ☎ 332-1755

純 会 員 制 **エドワーズ倶楽部**
 レストラン 生田区北長狭通1-28 ホワイトローズビル5・6F 生田新道 ☎ 391-3300

S N A C K **L 8 M**
 レストラン 生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1 ☎ 331-3070

ナ イ ト イ ン **お し ゃ れ 貴 族**
 レストラン 生田区中山手通1-24-7 大和ナイトブラザB1 ☎ 242-1925

ス ナ ッ ク **蘭 の 花**
 レストラン 生田区中山手通2丁目30-1 東門ダイワナイトブラザ5F ☎ 391-4455

ス タ ン ド **か て な**
 レストラン 生田区中山手通1-90 英健ビル1F ☎ 331-1316

本 店 洋 酒 の 店 **キ ャ ン テ ィ**
 レストラン 生田区北長狭通2-3 ☎ 391-3060・391-3010

北 店 ス ー プ と パ ン の 店 **グ ラ ム ー ル**
 レストラン 生田区下山手通3-8-9 ☎ 331-3661

ス タ ン ド **く る 実**
 レストラン 生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サ ロ ン **神 戸 時 代**
 レストラン 生田区中山手通1-28 モンシャットウコトキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ **サ ヴ ォ イ**
 レストラン 高梁山側 テキの店北 ☎ 331-2615

ス ナ ッ ク **聚 利**
 レストラン 生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

ス ナ ッ ク **山 荘**
 レストラン 生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot **サ ン ト ノ ー レ**
 トアロード店 生田区下山手通2トア・ロード ☎ 391-3822

北 野 店 生田区中山手通1-24-7 **ス ナ ッ ク レ オ バ ル ド**
 レストラン 生田区中山手通2丁目30-1 東門ダイワナイトブラザ6F ☎ 391-0992

DRINK **ス ネ カ ジ リ ッ ツ**
 SNACK 生田区下山手通2 永見ビルB1 ☎ 391-8708

Wine and **珍 地 理 屋**
 something 生田区中山手通1-24-7 大和ナイトブラザ1F ☎ 242-0288

素 舌 洞 **で っ さ ん**
 レストラン 生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

ス ナ ッ ク **ビ ジ ー ビ ー**
 レストラン 生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティ ー **バ ラ ン タ イ ン**
 レストラン 生田区中山手通2-101 大洋ビル2F ☎ 321-5677

居 酒 屋 **ボ ル ド ー**
 レストラン 生田新道浜側中央KCBビルB1 ☎ 331-3575

S T A N D **マ シ ュ ケ ナ ダ**
 レストラン 生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトブラザ2F ☎ 331-5587

サ ロ ン **パ レ 小 姫**
 レストラン 生田区加納町4丁目神三ビル2F ☎ 332-1098

ス ナ ッ ク **興 志 務 楽 亭**
 レストラン 生田区山本通2-60パールライフB1 ☎ 242-1977

ティ ー & **ル カ カ ル ト ン**
 カクテルラウンジ 生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

ウエスタンバブ **神 戸 ホ ン キ ー ト ン ク**
 レストラン 生田区加納町2-30 ☎ 241-2161

パ ー ラ ー **サ ン デ リ カ**
 レストラン 生田区中山手通1-90 ☎ 392-1434-6

ラウンジレストラン **コ ン パ ス**
 レストラン 舞合区二宮町3-12 大西ビル2F ☎ 242-1236

★KOBÉ PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング



★フィッシャーメンズボート(第4突堤ボートターミナル)

暑中お見舞い申しあげます

ステーキハウス山崎では30名様までの各種パーティを承っています

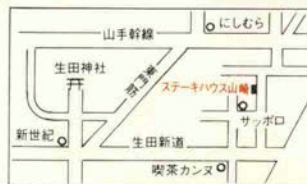


山崎
ステーキハウス

神戸市生田区中山手通1丁目目川ビル1F

TEL 391-3335

5:00P.M.~0:00A.M. 日曜定休



VIVA KOBE '77

TEACHER'S



眩しい風が吹いて……六甲の山並みに浮かぶあの雲ももう夏空のもの。いつのまにか少し汗ばむ季節になりました。そんな神戸の6月に誕生した“みもぎ”。あかるい雰囲気の中におくつろぎいただけるような、そんなお店です。



生田区中山手通1丁目76
神戸酒販ビル1F
TEL 331-3277 日祝休

キープボトル
スコッチウイスキーティーチャーズ
¥12,000



生田区中山手通1丁目24
大和ナイトプラザ4F
TEL 222-2139 日休



4月にオープンしたばかりの“モネ”は、絵が好きなママ陽子さんが「睡蓮」で有名なフランスの印象派画家クロード・モネにちなんで名付けたなごやかな雰囲気の店。ママ手づくりのテールシチューとワインカラーがとってもよく似合う。

キープボトル
スコッチウイスキーティーチャーズ
¥ 9,000



TEACHER'S



キープボトル
スコッチウイスキーティーチャーズ
¥ 7,000



ピアノの調べが流れるゴージャスなあなたのサロン——
ご商談、ご家族連れでのお食事、パーティ、お見合い、
デートのひとときをゆったりとお過ごし下さい。

《ステーキの半額奉仕》 PM5:00~10:00
テnderロインステーキ ¥3,800⇒¥1,900 ヒレミニヨン
ステーキ ¥2,800⇒¥1,400 サーロインステーキ ¥3,800⇒¥1,900ほか



KNIGHT CASTLE
フット・ホテル

生田区中山手通1丁目904-1
エースタウンビル地階
TEL 332-1904 日祝休

VIVA NIGHT

ぶあつい木のカウンターと風格ある木づくりの洋酒棚。
和風の静けさと銘酒の味わい。美人のママを相手にグラ
スを傾ければ、仕事の疲れも忘れてしまう。そんな落ち
つきのある、こじんまりとしたあなたのホームバー。



蘆風

生田区中山手通1丁目5
ゼウスビル2F
TEL 391-1183 日祝休



キープボトル
スコッチウイスキーティーチャーズ
¥ 12,000



和やかな雰囲気とジャズがたっぷり楽しめることが好
」と、たえちゃんとみさちゃんの姉妹のような二人。

JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1 ☎ 242-0100 無休



ラス片手に美女と語りながら過ぎゆくラベコンスタン
ンでのひととき、あなたはきっと真夏の夜の夢のなか
SNACK & NIGHT SPOT

ラベコンスタン

生田区中山手通1 マリンビル地下 ☎ 332-1019
第一、三日曜休



お向いの異人館をながめながら、ドイツの味を楽しむな
って神戸らしい。今日もグーテンターク。

Heidelberg

生田区山本通2丁目 ローズガーデン2階

☎ 222-1424 水曜休



飲んで歌って、和やかな雰囲気仕仕事の疲れも忘れてし
まう、そんなあなただけのホームバー“シャングリラ”

SNACK



シャングリラ

生田区中山手通1 マリンビル1F ☎ 391-8941
日祝休

an' the livin' is easy, Fish are jumpin', an' the cotton is high. Oh yo' daddy's rich, an'
yo wa is goodlookin'. So hush, little baby, dan't you cry.

SUMMER TIME

NIGHT IN KOBE

梅雨もすんでカッと照りつける太陽。その日没とともに始まる神戸の夜。



おかげさまで開店二年目のステップを踏み始めました。
今後ともよろしくお願い申し上げます。——金藤 憲一



LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F

☎ 391-0992・2125 第3日曜休



グルービーなピアノホールが誕生。30年代の古びた倉庫
を感じさせる中であなたもジャズと酒と共にスイング。

Piano Hall
BACKSTAGE

オールド
4500円
ヘイグ
5500円

生田区三宮町1 さんプラザ10F サンロイヤル

☎ 332-0230 第一、三月曜休(7月は無休)

Coffee Time 11:00~6:00 Whisky Time 6:00~12:00



ビールを愛する「ゴールド・ホロニガ会」のメン
ゴぞって「阿羅仁」に集合。アサヒビールでカン
スナック

阿羅仁 あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865 無休



おかげさまで一周年を迎え、7月20日に記念パ
開きます。あなたも是非ご来店下さいませ。——森

スナック

花潮

東門筋紅馬車前 荒神ビル6F

☎ 391-4116 日祝休



PUB &
RESTAURANT

PLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎241-8271

夢二と夢
酒と唄



すなつと
露亭

生田区再度筋町35-1

(諏訪山公園西100米)

☎341-5223

KOBE EATING & DRINKING GUIDE

中國料理

榮和飯店

生田区栄町1-3-2

(中華街)

☎392-1982



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎241-7320・7983

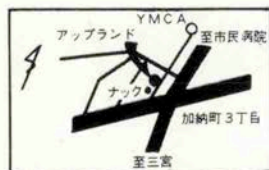


☆暑中お見舞い申し上げます。

さて、今月はステキなライブのご案内をしましょう。毎週火曜日の夜2回(9:40PM、10:40PM)、ご存知チャーリーとショーに、ジミーが加わり、時にはホットに、時にはクールに、ソウルからポピュラー、ジャズっぽい曲から、フォーク、ラテンと、その豊富なレパートリーのなかからステキなライブを聞かせてくれます。また、火曜日以外はチャーリーとショーとのライブが入ります。夏の夜のひととき、アップランド、で気楽で陽気な本場イギリスのパブの雰囲気をお楽しみ下さい。

☆ボークソーセージ¥900 シェパーズパイ¥1,000 ステーキ&キドニイパイ¥1,000 フィッシュ&チップス¥750 コーニッシュパースティ¥800 プロス(ウェールズ風シチュー)¥800 ヘレスターキ¥2,800 J&B、G&G、OLD各¥500 ビール¥400 フィズ¥500

5:00PM~3:00AM 日曜祭日6:00PM~3:00AM 無休



UPLANDS

KOBE
EATING &
DRINKING
GUIDE

栄和飯店



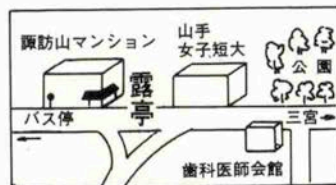
☆「栄和飯店」で料理を担当している李昌冷さんはこれまで大阪の中国料理店「敦順」で腕をふるい、朝日放送テレビの「料理手帳」で半年間指導をしていた人。だからこの店の料理の味は、中国の船員が来てこれも本場の味だというぐらいに確かなもの。さて今夜はKFS(コウベ・ファッション・ソサエティ)のメンバーが集っての会食。ファッションにも味にもうるさい面々だが、さすがに美味いと仲々の好評。昼は定食をはじめ大衆的な料理を、夜は高級料理を手頃な値段で楽しめる。また、海鮮料理も予約をしておけば注文の品を出してくれる。

☆コース/5,900円(ビール2本付)コース(4、5人)=前菜、炒三鮮(海老と貝類、イカ甘煮つけ)干炸双味(揚げもの2種類)麻婆豆腐、古老肉(すぶた)豆花湯(玉子スープ)。他にも2、3人コース(3,900円)、4、5人のファミリーコース(5,900円)がある。

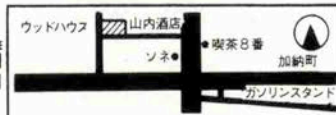
一品もの/清蒸鮮魚(むし魚)、豚吐丁(豚の胃袋いため)、油泡帶子(貝柱いため)、紅焼牛腩(牛肉の角切り煮込み)、紅焼牛柳(牛肉の一口テキ)、鮫汁田蛙(カエル)など。11:00AM~9:00PM 第1・2・3火曜休み

まてど暮せど
来ぬ人を
宵待草の
やるせなさ
今宵は月も
出ぬさうな
夢二

すなつと
露亭



DRINKING IS AN ART OF LIFE
WOODHOUSE



チャーリー・サマーコンサートご案内
日時/8月25日(木) 6:00PM開場 6:30PM開演
場所/神戸文化ホール(中ホール)

チケット/前売りA席1,600円 B席1,200円(指定)
当日A席1,800円 B席1,400円(指定)

神戸が生んだエンターテナー、チャーリー! かつては「ヤングピーツ」の、そして「ヘルプフルソール」の名ベースマンとして注目をあびた天才的なフィーリング、プラス、しびれるような声、そして、躍動するリズム感……ただ、ただ、ウツトリとさせてくれます。チケットは、ウッドハウスにもあります。また毎夜7・8・9・10・11時から30分、チャーリーのライブが聞かれます。

☆ビール(小)¥400 水割(OLD)¥500 おつまみ¥200 スパゲティ・ピラフ各¥500 キープG&G ¥6,000 レギュラーズコッチ¥7,000
平日5:00PM~4:30AM 日曜5:00PM~0:00AM 第1・第3月曜休み